



新たな公共交通網の構築をめざして

高齢化が進行する中、公共交通の重要性は増していき一方で、人口減少や財政的制約などの厳しい環境が続くことから、公共交通を維持していくためには、これまでにない新たな取組が求められています。

今回は、市が策定中の新たな公共交通網の構築に向けた計画などについてお知らせします。

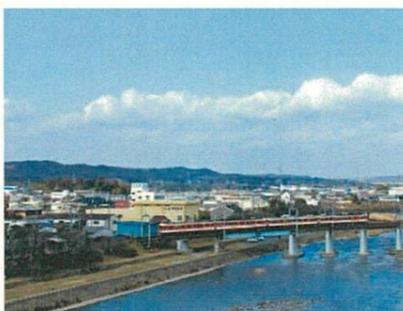
図(市)交通政策課



新たな公共交通網の構築に向けて

公共交通は市民生活を支える基盤であり、公共交通の維持・活性化には、行政、交通事業者のみならず、利用者である市民の皆様と一体となった取組が不可欠です。

市では、地域の基幹交通の維持と公共交通ネットワークの構築により、公共交通を中心としたまちづくりを推進するため、「三木市地域公共交通網形成計画(計画期間…平成31年度(平成35年度)」(案)を策定しました。計画(案)の目標および基本方針は次のとおりです。



基本方針 1

鉄道および幹線バスを軸とする公共交通網の形成

神戸電鉄粟生線の維持・存続に向け、同線の活性化や利用促進に取り組みます。

また、市内路線バスの適正な運行形態に関する検討や見直し等を実施し、持続可能なバス路線網の形成を図ります。

基本方針 3

公共交通の活性化および利用促進

公共交通に関する出前講座の開催など、市民の皆様との細やかな対話により、持続可能な公共交通の在り方を共に考え、公共交通利用を促す働きかけを進めます。



基本方針 2

まちづくりと連携した
便利な公共交通網の形成

まちづくり、福祉、教育、観光に関する施策との協調および連携により各地域の特性を生かした公共交通施策を推進し、まちの快適性の向上や活性化につなげます。

目標

住み続け、訪れたいくなるまちづくりを目指し、次世代につなぐ新たな公共交通網をつくりたいです

バス交通の見直し

計画(案)の策定と併せて、利用実態に即したバスの運行形態を検討し、効果的かつ効率的な移動手段を確保するとともに、将来にわたる市の財政負担の適正化を図るため、次のとおり「三木市バス交通の見直し方針」(案)を策定します。



1 幹線バス等の確保維持

地域にまたがる広域的な役割や鉄道駅と住宅団地等の市街地を結ぶ基幹的な役割を担う路線バスについては、引き続き、利用の向上につながる見直しを実施し、路線の確保維持を図ります。

3 吉川地域全域でのデマンド型交通の導入検討

吉川地域全域を対象として、デマンド型交通(利用者の需要に応じた予約型の運行サービス形態)の導入を検討します。

なお、導入検討から開始までの間は、現行の路線バスの利用実態に即した見直しを実施します。

2 旧コミュニティバスの整理統合

一体的な見直しの中で整理統合を行います。

また、新設して間もない路線については、停留所の増設や地域拠点経由などの経路変更により利用を促進します。



4 北播磨総合医療センター方面行きバス(市単独補助路線バス)の全線廃止を含めた見直し

将来的な全線廃止も見据えた上で、バス利用の効果を検証し、利用状況におお改善がみられない路線については、廃止を含めた見直しを実施します。



なお、路線が廃止となった場合における代替策として、鉄道駅およびバスターミナル(神姫バス(株)三木営業所)からの乗継ぎによる医療センターへの移動手段の確保を検討します。

5 タクシー運賃助成等の拡充検討

北播磨総合医療センター方面行きバスの全線廃止を含めた見直しにより削減した経費の一部を活用し、福祉施策としてタクシー運賃助成等の拡充を検討します。

住民説明会の開催

市内10地区において、「三木市地域公共交通網形成計画」(案)および「三木市バス交通の見直し方針」(案)についての住民説明会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

※地区ごとの個別の説明を行います。

日	時	地区名	場 所
1月11日(金)	午後7時~	三木南別所	三木南交流センター別所町公民館
1月18日(金)	午後7時~	口吉川	口吉川町公民館
1月20日(日)	午前10時~ 午後1時30分~	三木	中央公民館
1月22日(火)	午後7時~	緑が丘	緑が丘町公民館
1月24日(木)	午後7時30分~	細川	細川町公民館
1月26日(土)	午後6時~ 午後7時~	自由が丘 青山	自由が丘公民館 青山公民館
2月2日(土)	午後2時~	吉川 志染	吉川町公民館 志染町公民館